

タッチデバイスを用いた自動車運転サポートシステムに関する研究

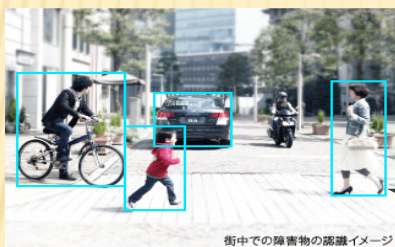
ソフトウェア開発管理 矢吹研究室 0942013 伊藤 貴文

背景

自動車体験を向上させる情報技術は
大きく2つに分けられる

①運転支援技術

- ACC
- 衝突被害軽減ブレーキ
- レーンキープアシスト



②コミュニケーション支援技術

- カーナビゲーション
- ハンズフリー通話



導入するためには、その技術を採用
しているメーカーの新車や専用端末を
購入するしかないという欠点があった。

目的

新車を購入しなくてもコミュニケーションを
支援する技術を実現しよう！

研究方法

①スマートデバイスを利用する

- GPSや加速度センサーがある
- 通信ができる

②SNSと連携する

- SNSを利用する
(データをSNSに蓄積)

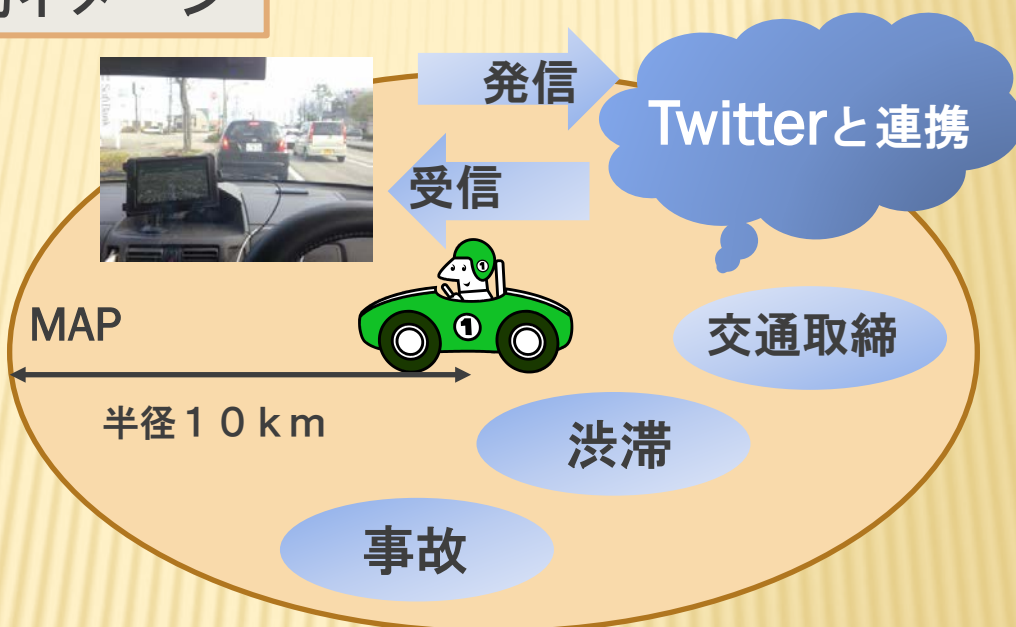
進捗状況

運転中のコミュニケーションをサポートするシステムを考案中である。本システムは、車内に設置したスマートデバイスのセンサーや通信機能を活用する。

- ① そのデバイスに表示させた地図上で自車の表示する
- ② SNSのTwitterと連携して自車の半径10キロ程度以内の事故や渋滞，交通取締の情報を取得して表示させる
- ③ 交通情報を投稿し共有する

以上の機能を検討している。

成果物イメージ



今後の計画

内容	日程
スマートフォンアプリの利用と連携機器の調査	2013年10月
開発技術の調査	2013年11月～
成果物イメージのプロト作成・動作の検証	2013年12月～
論文の執筆，発表資料作成	2014年1月～